

事業名 浜松市制100周年記念将棋名人戦

実施形式	浜松市制100周年記念将棋名人戦実行委員会
開催日	平成23年4月17日(日)、20(水)～21日(木)
会場	浜松市茶室「松韻亭」ほか
実施目的	「第69期名人戦七番勝負第2局」の開催を通して、全国に向けて浜松市の存在(市制100周年)をアピールするとともに、伝統文化である将棋の一層の発展と振興に寄与することを目的に開催。

■実施内容

●第69期将棋名人戦 第2局

日時	平成23年4月20日(水)～21日(木)
会場	浜松市茶室「松韻亭」
対局者	名人:羽生 善治、挑戦者:森内 俊之 九段(勝者 森内 俊之 九段)
正立会人	石田 和雄 九段
副立会人	木村 一基 八段、神谷 広志 七段(浜松市中区在住)
主催	毎日新聞、朝日新聞、日本将棋連盟
協賛	大和証券グループ
後援	浜松市・浜松市教育委員会、浜松市制100周年記念将棋名人戦実行委員会

※前日(19日)には、両対局者が浜松城の見学と浜松市長への表敬訪問を行なった。

●大盤解説会

日時	平成23年4月20日(水) 14:00～18:30 4月21日(木) 9:00～終局(16:30)
会場	ホテルコンコルド浜松 2F 海の間
解説者	塚田 泰明 九段
内容	茶室「松韻亭」で開催される第69期名人戦第2局の大盤解説
主催	浜松市制100周年記念将棋名人戦実行委員会
後援	毎日新聞、朝日新聞、日本将棋連盟

●浜松市制100周年記念 小中学生将棋名人戦

日時	平成23年4月17日(日) 9:00～17:00
会場	浜松科学館ホール
大会	総平手戦 予選リーグ・決勝トーナメント ・小学生 低学年の部(新1年生～新3年生) ・小学生 高学年の部(新4年生～新6年生) ・中学生の部(新1年生～新3年生)
審判長	金井 恒太 五段
賞品	各部門優勝～3位まで
参加費	無料
主催	浜松市制100周年記念将棋名人戦実行委員会
後援	毎日新聞、朝日新聞、日本将棋連盟



実施結果	●事業成果・効果	テレビなど多くのメディアで本局が浜松市制100周年記念事業の一環で開催していることが取り上げられ、大盤解説会には、市内はもちろん県外からも多くの来場者があり、全国に向け市制100周年をアピールする良い機会となった。また、関連イベントとして開催した「小中学生将棋名人戦」は、定員よりも多くの申し込みがあった。日本の伝統文化である将棋は、「考える力」「忍耐力」「礼儀作法」「相手への思いやり」などの教育効果があるとも言われており、浜松の将来を担う子どもたちを対象にした本事業は、今後の浜松の将棋文化の推進に加え今後の子どもたちの教育に活かされるものと期待する。	
	●100周年以降へのつながり(成果・効果)	今回の将棋名人戦を一過性のものに終わらせないため、これを機に、浜松小中学生将棋名人戦を毎年開催していく。	
入場者数 または 参加者数	(大盤解説会)	4月20日(水)	93名
		4月21日(木)	325名 計418名
	(小中学生将棋名人戦)	小学生 低学年の部	33名
		小学生 高学年の部	46名
		中学生の部	20名 計99名

事業名 浜松市伝統芸能の集い「浜松の祈り 明日への祈り」

実施形式	浜松市伝統芸能フェスティバル実行委員会
開催日	平成23年7月2日(土)
会場	浜松アリーナ
実施目的	浜松の誇る民俗芸能をはじめする伝統文化を内外に発信し、浜松への魅力・誇り・愛着を高めるとともに、伝統芸能保存団体等の活動の活性化とネットワーク化を図ることを目的とし、合わせて、東日本大震災からの復興を祈念し、被災地・被災者への支援を目的として開催。

■実施内容

市内の国指定重要無形民俗文化財、県または市指定無形民俗文化財団体による芸能の披露

【出演】 西浦の田楽 滝沢の放歌踊
川名のひよんどり 横尾歌舞伎
川合花の舞 遠州大念仏

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>市内を代表する民俗芸能(国・県・市指定無形民俗文化財)が一堂に会する機会は今までなかったことであり、また市内のみならず、市外・県外からの来場者も多く、まさに100周年記念事業としてふさわしい内容であった。今までは出演団体間の交流があまりなかったが、このイベント開催により、団体間に相互交流の機運が高まってきた。</p> <p>なお、会場にて実施した東日本大震災被災者支援の募金活動の結果、179,513円もの募金が集まった。(日本赤十字社に寄付した。)</p>
	<p>入場者数または参加者数</p> <p>1,500人(入場者)</p>
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市の財産。継いでいきたい。 ・感動した。ぜひ現地で見たい。 ・様々な時を経て続いてきた太鼓、笛、舞いは、浜松から東北の御霊やすめになったと思う。



事業名 第50回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

実施形式	主催:株式会社かんぼ生命保険、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟 共催:浜松市、浜松市教育委員会、財団法人浜松市体育協会
開催日	平成23年7月31日(日)
会場	浜名湖ガーデンパーク
実施目的	「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」は、昭和37年に開始された1年に1回行われるラジオ体操最大のイベントである。午前6:30からNHK総合テレビ・ラジオ第1放送の生放送を通して、10,000人の規模の参加者が一斉に元気一杯ラジオ体操を行なう様子を全国に発信し、市制100周年の節目を迎える浜松市をPRするとともに市民の健康体力づくりの増進に寄与することを目的に開催。

■実施内容

- ①6:30～ラジオ体操・みんなの体操 本番(15分間)
 ②7:00～アトラクション(NHK番組 ざわざわ森のがんこちゃんショーほか)※
 ※雨天のため中止となった

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>雨天にもかかわらず、子どもからお年寄りまで幅広く市民にご参加いただいたほか、全国のラジオ体操愛好者も含めて、およそ5,000人もの方々の参加が得られ、NHKのテレビ・ラジオを通じて、市制100周年を迎えた浜松市をPRするとともに、全国に元気を発信することができた。</p> <p>今回の1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭の開催を契機として、市民の健康、体力づくりを推進するため、ラジオ体操の普及に取り組む。</p>
入場者数または参加者数	5,000人
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> • すぐ雨が降っていたので、体操だけでもできてよかった。 • アトラクションも楽しみにしていたので、雨で中止となってしまいとても残念。 • 家に帰って、録画したテレビ放送を見るのが楽しみ。



事業名 市民歴史講座「徳川塾」(家康公在城期の浜松城復元模型制作を含む)

開催日	徳川塾:平成23年7月～平成24年1月(全6回) 模型制作:平成23年7月～12月(延べ14回)
会場	徳川塾:浜松市博物館(第1回)、浜松市立県居公民館(第2回)、浜松市地域情報センター(第3回～第6回) 模型制作:浜松市博物館ほか
実施目的	徳川家康公が現代の浜松人に遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら、都市の魅力を上向きさせ、魅力あふれる「創造都市・浜松」を実現することを目的として開催。

■ 実施内容

【徳川塾】

- 第1回「松平・徳川時代の西三河の城」(7/9)
- 第2回「徳川時代の遠江の城」(7/30)
- 第3回「浜松在城期の徳川家康～家忠日記からみた家康と浜松ゆかりの人々～」(8/20)
- 第4回「家康の遠州攻略と三河武士」(12/18)
- 第5回「浜松にのこる家康の足跡～「浜松御在城記」の世界～」(12/18)
- 第6回「武田玄玄の遠江侵攻と徳川家康—三方原合戦の政治的背景と展開—」(1/29)

【模型制作】

- 「徳川塾」とも連動して、戦国期の三河・遠江・駿河の動向を最新学説によって再認識し、現地踏査などの成果をふまえて参加者と協議し、家康在城期の浜松城と城下のイメージを固めた。
- 百分の一縮尺で浜松城の主要部と、当時の城下(ひくま宿を含む)を推定し、スチロールボード、模型材料などを利用して立体模型の制作を進めた。
- 完成させた模型を、博物館にて開催する「城絵図」展に陳列し、成果を紹介した。

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>毎回定員を超える参加申込みがあり、市民の関心の高さが伺えた。事業実施においては「模型製作」と「徳川塾」の連携により、新たな浜松城のイメージを提案でき、また「山城サミット」、や美術館の「戦国の覇者徳川家康」展と時期を連動させることで、家康と浜松のつながりを示す相乗効果が得られた。</p> <p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>完成した模型は、博物館常設展で今後も陳列する予定である。今後は城跡整備活用事業と関連づけた講座の実施を検討するとともに、浜松城と歴代城主への関心が高まってきたことから、関連事業を継続していきたい。</p>
入場者数または参加者数	参加者数延べ838人 (徳川塾:延べ624人、模型制作:延べ214人)
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> 大変有意義な内容だった。 このようなテーマで引き続き講座を継続してほしい。 戦国時代の浜松の様子をあらためて理解できた。 完成させた模型が、博物館に陳列されているのがうれしい。



事業名 第5回全国緑のカーテンフォーラムin浜松

実施形式	浜松市、NPO法人緑のカーテン応援団
開催日	平成23年8月5日(金)、6日(土)
会場	アクトシティ浜松コンgresセンターほか市内各地

■ 実施内容

- ①緑のカーテンを育てる過程を通して、地域の自然や地球規模の環境問題に関心を寄せて、実際に行動する「環境市民」を増やす。
- ②節電の手段として注目を集めているが、単にそのための手段とするだけでなく、浜松市制100周年記念の次の100年に必要な考え方や生き方を改めて見つめ直し、ライフスタイルを見直すきっかけとする。
- ③緑のカーテンの基本的な考え方や成功事例、共通する課題や克服方法、今後の方向性などを全国の関係者と共有し、これらを広く発信するとともに、実際の緑のカーテンの魅力を多くの参加者に感じていただき、新たに夏の風物詩として定着化を図る。

●PR展示(緑のカーテンの見本展示)

日時・場所:8月3日(水)～7日(日)終日、浜松駅北口広場キタラ

●現地見学ツアー

日時・場所:8月5日(金)9:30～17:00 市内各所

内容:緑のカーテンを実践している市内の企業や学校施設等を巡り、緑のカーテンの魅力や実践方法、緑に関する企業CSR活動を学ぶ。

●フォーラム

日時・場所:8月6日(土)13:30～17:10 アクトシティ浜松コンgresセンター4階

内容:特別講演「生きものはつながりの中に」(JT生命誌研究館館長 中村桂子氏)、基調講演「緑のカーテン-その効果と全国への広がり」(NPO法人緑のカーテン応援団理事 菊本るり子氏)、研究報告、パネルディスカッションなど

●パネル展示コーナー

日時・場所:8月6日(土)11:00～17:30 アクトシティ浜松コンgresセンター4階

内容:緑のカーテンに関する浜松地域や全国における実践状況や企業活動、快適な暮らしを創り出す緑や自然との関わり方について、パネル展示を通して紹介。

●その他

本庁舎(正面玄関前、2・3階)への緑のカーテン設置、緑のカーテン弁当の企画販売。



実施結果	●事業成果・効果 緑のカーテンを、単なる節電の手段としてのみ捉えるのではなく、「みどり」を取り入れた豊かで心地よい暮らしを実現するための手段として捉える考え方や、緑のカーテンの魅力と効果的な取り組み方法を全国フォーラムという形で発信。人は自然に寄り添うことで豊かな暮らしを享受してきたことを再認識するとともに、生きものと関わるこれからの暮らし方について考える機会となった。事業を通し、緑のカーテンに携わる全国の関係者が、緑のカーテンの意義や効果を共有でき、今後の事業の推進に向けた「人づくり」や環境づくりにつながった。
入場者数または参加者数	現地見学ツアー参加者:62人、フォーラム来場者数:350人、 パネル展示出展団体数:72団体
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演では、38億年の命のつながりを再確認しました。緑のカーテン教育を通して、自然のなかで生きていることを改めて知ることができました。 ・お話をうかがってとてもよかったです。「新しい視点」を得られたからです。 ・基調講演では、緑のカーテン事業の奥行きの高さ・教育としての意味がよく分かりました。 ・パネル展示では、とても多くの展示があり、見ていての楽しい。展示そのものの工夫が参考になった。

事業名 全国山城サミット

実施形式	第18回全国山城サミット連絡協議会浜松大会実行委員会
開催日	平成23年11月5日(土)、13日(日)、19日(土)及び20日(日)
会場	アクトシティ浜松・中ホール、二俣城・鳥羽山城、なゆたホール、千頭峯城ほか
実施目的	全国の山城が存在する市町村及び関係団体が、情報交換等を通じて親睦と交流を深め、山城の保存や、観光資源としての活用による地域活性化への取り組みにより、潤いのある豊かなまちづくりを進めることを目的に開催した。併せて、貴重な歴史資源である山城をはじめとした浜松の歴史や文化を内外に発信するとともに、市民の浜松への魅力、誇り、愛着を高めることを目的とし実施した。

■実施内容

●第18回全国山城サミット連絡協議会浜松大会

11月19日:基調講演、協議会、シンポジウム(アクトシティ浜松・中ホール)

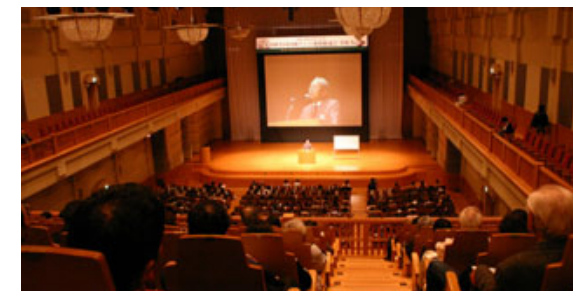
11月20日:山城現地見学会(二俣城・鳥羽山城)

●イベント

11月5日:千頭峯城と三ヶ日の文化財めぐり(千頭峯城ほか三ヶ日町地内)

11月13日:春風亭昇太 落語&トーク「山城あるきのススメ」(なゆたホール)

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>前回大会を上回る自治体、関係団体の参加があり、情報交換、意見交換が活発に図られた。また、山城サミット始まって以来の最多の来場者があり、マスメディアによる報道も多かったことから、山城を通じ、浜松の歴史・文化の魅力を全国に発信するとともに、「全国山城サミット」自体のPRができた。同様な企画の継続開催を求める声が多く、山城を活かしたまちづくりに対する期待感がより強くなったと言える。</p>
入場者数または参加者数	延べ1,370人(加盟自治体参加者を含む)
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・建物や石垣がなくても、昔の人が智恵を出して、いかに防御しやすく、攻めにくい城を作ったかを考えるととても面白い。 ・このようなサミットを定期的に浜松で開催してほしい。 ・前回の17回大会にも参加したが、今回18回大会は内容も充実しており、とても楽しめた。



事業名 家康公ワードウォッチング

開催日	平成23年9月20日(火)～平成24年1月16日(日)
会場	浜松市役所 市民ロビー
実施目的	市制100周年を迎え、浜松の歴史を懐かしみ、新たな未来へ向かう浜松のシンボルとなることを期待して、家康公プロモーション事業の一つとして実施。

■実施内容

「徳川家康公の名言」をモチーフとした、インスタレーション作品を制作し、市役所市民ロビーの空間に展示した。展示期間中は、市民等から「未来の浜松」をキーワードにした俳句・川柳を募集し、特設モニターやホームページなどで公開・情報発信した。

作品名 偶然のホトギス(全長8m)

制作者 鈴木康広氏(浜松市出身)

展示期間 当初予定 平成23年9月20日～11月30日(俳句・川柳募集)

展示延長 平成23年12月1日～平成24年1月16日(作品展示のみ)

その他 ホトギスは、偶然ときどきさえずる。

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>市役所市民ロビーの空間に、このようなインスタレーション作品を飾るのは初めてで、しかも時々さえずるので愛らしく、市役所内に和やかな雰囲気を醸し出してくれた。また、市役所を訪れた市民、視察者等が俳句・川柳にも興味を持ち、多くの作品が投稿されたことで、浜松を振り返る良い機会となった。この作品は、浜松市出身の若手アーティストである鈴木康広氏の作品で、「創造都市・浜松」をめざす芸術家たちの起爆剤にもなった。</p>
入場者数または参加者数	264句の俳句・川柳の投稿があった。
参加者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ホトギスの声を聞いて、心がとても癒された。 ・鳴くまで待とうホトギス。徳川家康の心の一面を実際に思い起こすことができた。 ・このような作品は初めて見た。圧倒されました。 ・浜松の「やらまいか精神」を感じた。

